



協和精工株式会社

「子育てと両立できる職場づくりで人材を確保」



外観



玄関脇の打合せスペース。ここで、子どもがお母さんの帰りを待つことも

企業概要

事業開始：昭和51年（1976年）
所在地：さいたま市岩槻区
事業内容：映像機器、事務機器、電子・電気機器の組立
従業員数：255人
（男性40人、女性215人）

取組のきっかけ

- 埋もれている人材の活用
約30年前に会社を設立した頃、社長が周囲の住宅街に多く住む女性に着目した。女性たちは、結婚・出産をして「専業主婦」になっていたが、元々はいわゆる一流企業で仕事を積んだ方々である。人の力が重要な企業であり、こうした貴重な人材を活用したいと考えた。

取組状況

- ① 休暇の積極的な取得
子どもの学校行事や家族の記念日などに、年次有給休暇を積極的に取得するように奨励している。ちょっとした用事に有効に使えるよう年次有給休暇を半日単位で利用できるようにしている。
- ② 制度運用上の配慮
気兼ねなく休めるようにするために、周囲から声かけをするとともに、前もって分かっていたら本人から休む予定を話してもらい業務スケジュールを調整している。学校帰りの子どもが仕事が遅くなったお母さんを待っていただけるように、部屋を提供することもある。

社員の声

20年子育てをしながら仕事を続けてきた。この間、学校のPTA役員や行事に積極的に参加することを認められた。仕事以外の経験があると、世間が広がり、人とのつながりも増え、仕事にも役立つと感じている。

効果と課題

休暇の取得

社員は年次有給休暇をほとんど使い切る。子どもの運動会やPTAの役員会、妻が子どもを連れて里帰りをする時など、遠慮なく休めるようにしている。

人材の確保

求人広告に「子育て応援宣言企業」「働くお母さんを応援します」「学校行事優先」ということを掲載することで、多くの人材が集まってくるようになった。

働きやすい職場づくり

従業員の中にお互い様という理解があり、その結果働きやすい職場になっている。

一般事業主行動計画の策定 ▶ 有

ワークライフバランス推進員の登録 ▶ 有

子育て応援宣言企業の登録 ▶ 有

〈登録内容〉

- ① 子どもの学校行事に参加するための年次有給休暇の取得奨励
- ② 家族の記念日に年次有給休暇の積極的取得の奨励
- ③ 若年層を対象としたトライアル雇用の実施